

## 2025 年 3 月期 第 3 四半期 アナリスト様向け Zoom ウェビナーカンファレンス 主な質疑応答記録

日時：2025 年 1 月 31 日（金） 17:00 ～ 18:00

出席者：取締役常務執行役員 基盤事業本部長 松浦 一慶  
取締役常務執行役員 管理事業本部長 曾根 芳之  
取締役常務執行役員 高機能事業本部長 小西 裕一郎

## 【全体】

ご質問：資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について、EVA スプレッドの改善検討を進めているということだが、どのような検討をしているのか？

回答：ROIC 向上に向け、投下資本やコストの精査を行っている。投下資本に関しては、CCC 水準の適正化や投資の精査を行っていく。コストに関しては、工場固定費・販管費の見直しを行っていく。聖域なく検討していることで時間を頂いているが、2025 年 6 月の中期経営計画第 3 フェーズ発表時にご説明させていただきたいと考えている。

ご質問：米国でのリチウムイオン電池用バインダー生産設備の投資計画について、2 年程度凍結することを決定したとの発表があった。投資計画の変更に伴うキャッシュフローアロケーションの考え方を説明してほしい。

回答：キャッシュフローアロケーションの考え方は、中期経営計画第 2 フェーズでご説明した通りである。新規投資については、2025 年度末時点での全体の使用見込みを考慮の上、資金に余剰が生じると判断した場合には株主還元を検討する。

## 【高機能材料】

ご質問：中国政府の補助金の影響をどのように見込んでいるか？

回答：中国政府の補助金対象となる家電の範囲に TV が含まれており、第 3 四半期の大型フィルムの出荷を下支えした。2025 年以降も引き続き中国政府が TV 向けに補助金を出すことになっており、また 2025 年から新たにモバイルデバイスに対しても補助金が出ることになったため、光学用途向けシクロオレフィンポリマー（以降、COP）と中小型フィルムの影響も精査して、2025 年度の業績予想を検討していきたい。

ご質問：2025 年度にかけて、中国政府の補助金を除く需要動向をどのように見込んでいるか？

回答：TV の画面サイズの大型化が進んでおり、当社の大型フィルムへの需要は堅調である。また、半導体用途向け COP についても、半導体の配線幅が緻密になっていく中で当社の COP への需要は堅調である。

ご質問：2024 年度の業績予想について、上方修正された要因を説明してほしい。

回答：主要因は光学フィルムと COP である。光学フィルムは中国政府の補助金政策により、大型 TV 向けフィルムの出荷堅調が継続した。COP は、光学用途向けおよび半導体用途向けの需要が堅調に推移し、従来発表していた業績予想を上回る見込みとなった。

ご質問：2024 年度の業績予想について、第 3 四半期から第 4 四半期にかけて減益の予想となっているが、その要因について説明してほしい。

回答：要因は 3 つある。1 つ目は、在庫保管費用等の増加である。2025 年度に水島工場が定期検査を行うが、2024 年 10 月から 2024 年 12 月前半にかけて 4 つある COP 生産系列のうち 1 つが停止していたことにより、在庫水準が低位になっている。これ

から在庫積み増しを行うため、保管費用等が増加する見込みである。2 つ目は、中小型フィルムについて、新モデルへの移行に伴う出荷減を見込んでいる。こちらは、例年のトレンドであり特殊要因ではない。3 つ目は、年度末にかけて本社費などの各種費用の検収が増加してくるため、販管費の増加を織り込んでいる。

ご質問：COP について、第 3 四半期に医療その他向けの出荷が減少している。第 4 四半期には回復を見込んでいるとのことだが、その理由を説明してほしい。

回答：第 3 四半期の出荷減は一部顧客の在庫調整によるものであり、一過性の要因のためである。

ご質問：水島工場の 1 生産系列停止による損失は、営業利益内に発生しており、営業外費用や特別損失には発生していないか？

回答：営業利益内で計上している。

【エラストマー】

ご質問：2024 年度の業績予想について、第 3 四半期から第 4 四半期にかけて減益の予想となっているが、その要因について説明してほしい。

回答：中国の春節の影響によるアジア域の需要の減衰に加え、海外を中心に年末に向けて在庫削減する動きがあるためであり、この傾向は昨年度と同様である。

ご質問：第 3 四半期はアジアブタジエンの価格が低下してきているが、第 2 四半期との比較で合成ゴムの販売価格改定が進んだ理由を説明してほしい。

回答：第 2 四半期のアジアブタジエン価格に基づく販売価格の改定が第 3 四半期に反映されている。

以上